

主催 (株)エコ・サポート

共催 公益社団法人日本技術士会近畿本部登録環境研究会

2011年3月の福島原発事故に伴い、電力自由化、脱原発依存、再生可能エネルギーの拡大の方向は定まりましたが、エネルギー基本計画は具体的な展開がはっきりとは見えてきません。

大阪夢洲での天然ガス発電所建設事業計画段階環境配慮書を環境影響評価法に基づき2014年1月14日に経済産業大臣に送付・公告しました。現在、審査中で2月末には環境大臣意見が公表され、4月中旬には経済産業大臣意見が提示されます。

燃料のLNGとガスタービン・コンバインドサイクル発電(GTCC)は関西だけでなく、新興国でも高度なNO_x対策、CO₂対策を通じて新しいビジネスチャンスへの期待が膨らみます。

本事業に関連して標記のシンポジウムを開催いたしますので、ご案内いたします。

日時 2014年3月13日(木) 13:30~17:00

場所 大阪科学技術センター8階大ホール(定員294名)

1. 基調講演① 野邑奉弘氏 大阪市立大学名誉教授 工学博士
夢洲発電計画と公害イメージのないエンジニアリング技術開発(40分)
2. 基調講演② 岡田治氏 (株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ代表取締役 工学博士
CO₂選択透過膜を用いた省エネ型CO₂分離・回収システムについて(35分)
3. パネルディスカッション(15:00~17:00 120分)
コーディネーター:野邑奉弘氏 大阪市立大学名誉教授 工学博士
 - ①高田 弘氏 公益財団法人地球環境センター専務理事、元三井物産(株)
新興国でのGTCCと環境社会配慮への支援活動のあり方
 - ②森 和義技術士(電気・電子、経営工学、総合技術監理) 元神戸製鋼所
一般社団法人日本技術者連盟理事、(有)森テクノマネジメント代表取締役
海外発電事業計画の具体化と環境社会配慮指針の役割
 - ③山本 泰三技術士(環境、総合技術監理)、(株)エコ・サポート代表取締役
公益社団法人日本技術士会近畿本部登録環境研究会幹事長
夢洲での1000万kW火力発電事業による地域貢献とイノベーション
 - ④岡田治氏 (株)ルネッサンス・エナジー・リサーチ代表取締役 工学博士

4. 参加申込

参加費 企業など 5000円(2人:8000円、3人:10000円) ※優先枠120名

技術士 2000円(環境研究会会員、事業関係者、株主は無料) ※優先枠120名

懇親会(17:15~18:45) 参加費:5000円(環境研究会会員等は3000円)

メール宛先 環境研究会:山本泰三 tyama58@gold.ocn.ne.jp Fax078-411-8616

※参加区分は上記にマークを入れてください。

企業名・団体名	氏名	所属	メールアドレス
Tel ()			

【参考】 ●講演者・パネリストの環境研究会での講演実績 <http://pe-eco.jp/> に要旨を掲載

氏名	日時	環境研究会での講演、シンポなど	備考
野邑 奉弘	2008.7.15 特別講演	・バイオマスタウンの事業化に向けて	
岡田 治		・キーワードは「触媒」と「メンブレン」 ※CO ₂ 低減、低酸素社会	http://www.r-energy.com/ ※会社は2004.7 設立
高田 弘	2013.11.25 特別講演 組織：1992 発足	・技術・海外・環境 ～塞翁が馬～	http://gec.jp/jp/index.html
森 和義	2010.11.11 報告会 2014.2.13 特別講演	・環境アセスメントについて ・海外事業での環境社会配慮指針の役割	http://www.jef-site.or.jp/
山本 泰三	2010.1.23 シンポ 2012.10.18 シンポ	・CO ₂ 25%削減に向けての戦略 ・関西での電力安定供給のイノベーション	http://www.plus-eco.com/ http://myhatsuden.jp/

●夢洲発電事業に関連する主な公益社団法人日本技術士会登録環境研究会での活動実績

①エネルギー・環境戦略などの特別講演例

<http://pe-eco.jp/>に要旨を掲載

2002.7.20 環境保全をめぐる技術と社会システム 植田和弘京都大学経済学部教授

2002.9.27 21世紀の技術と社会システム

鈴木胖 姫路工業大学学長、大阪大学名誉教授

②最近のエネルギー・環境・発電の関連シンポジウム

<http://pe-eco.jp/> に要旨を掲載

2010.01.23 CO₂ 25%削減に向けての戦略と社会・技術

※本シンポジウムは近畿の2府4県、3政令市等の後援を得て開催した。

2011.5.7 原子力利用の今後と電力安定供給のあり方

2012.1.14 わが国の中期的（2020年）エネルギー戦略

※技術士環境研究会から「大阪湾岸に総量で1000万kWの火力発電所建設」を提言

③委員会活動(有識者に委嘱)

2013.2.8 「第1回計画推進委員会」(委員長：鈴木胖阪大名誉教授)、委員会後、夢洲の現地確認

.4.8 「第2回計画推進委員会」を公開で開催。

.6.14 「第3回計画推進委員会」を公開で開催及び記者会見。

→ a) 環境研究会の事業を(株)エコ・サポートが継承。

b) 「計画推進委員会」は「発電事業推進委員会」(委員長：長尾謙吉大阪市立大経済学部教授)に移行。

2013.10.3 「第1回発電事業推進委員会」 中部電力西名古屋火力発電所などを視察。

.11.12 「第2回発電事業推進委員会」 (株)エコ・サポートの定款変更登記が完了。

.12.19 「第3回発電事業推進委員会」 2014年1月に環境配慮書の送付・公告等を了承。

2014.1.14 環境配慮書を経済産業省に送付・公告、「my発電所」を立ち上げ <http://myhatsuden.jp/>

.2.18 「第3回発電事業推進委員会」 今後の活動展開についての検討

●(株)エコ・サポートの組織図

●今後の取組み方向

